

## ～淀川水系ダム事業費等監理委員会の議事概要について～

1. 開催日時：平成21年7月17日（金）9：30～12：30
2. 開催場所：京都テルサ 東館2階 中会議室  
京都市南区新町通九条下ル 京都府民総合交流プラザ内
3. 委員：安部友則（独立行政法人土木研究所 水工研究グループ長）  
岸田 潔（京都大学大学院工学研究科 准教授）  
角 哲也（京都大学防災研究所水資源環境研究センター 教授）  
鄭 小平（立命館大学経済学部 教授）  
深川良一（立命館大学理工学部 教授）  
委員長（\*50音順）

### 4. 議事概要

委員会は4名の委員が出席（角委員欠席）し、規約について決定し、深川委員を委員長に選出した。

事務局より、天ヶ瀬ダム再開発事業、大戸川ダム建設事業（県道大津信楽線の付替工事）、川上ダム建設事業、丹生ダム建設事業の河川整備計画における位置付け及び実施状況等について説明を行い、各委員より次の意見及び助言をいただいた。

#### <全体について>

- ・本委員会は事業進捗に応じ適切な内容とタイミングで開催する。
- ・事業を進めるにあたっては、事業者が提案したコスト縮減策の検討は、引き続き行うこと。
- ・コスト縮減の検討にあたっては、新技術も考慮すること。

#### <天ヶ瀬ダム再開発事業について>

- ・流入部立坑と導流部トンネルの接続部の施工（止水処理等）が困難と思われるため、他の事例との情報交換をしっかりと行い、施工に反映すること。
- ・全体として事業の進め方は、合理的であると判断できる。

#### <大戸川ダム建設事業について>

- ・付替道路の進め方は、現時点で確定したものではないが、概ね合理的であると判断できる。

#### <川上ダム建設事業について>

- ・コンクリート打設工法の工夫や、骨材の有効利用など、工期遵守を念頭にコスト縮減を図っていく合理的な検討がなされていると判断できる。